

選ばれてあることの試練と誉れによって 協働と連携のネットワークは静かに確かに鍛えられてきた 誰とでも何処へでも赴く覚悟が、私たちにはある

私たちの活動は自治体や企業、関係団体のさまざまなアートプロジェクトや舞台芸術振興事業のスタートに関わってきた。たとえば、2002年に岡山市東区犬島を会場に岡山市と協働開催した「犬島アーツフェスティバル」は、その好例といえる。当時の犬島にはまだ現在のような「精錬所美術館」や「家プロジェクト」はなく、離島の原風景と明治末期に建設された銅精錬所の遺構が廃墟となっていた。その遺構を生かした野外イベントの開催が岡山市からの提案だった。私たちは、国際的な野外劇集団・維新派に企画提案するとともに、演劇とダンスの若手アーティストに作品創作とワークショップを依頼した。準備から数えると約2年近くに及ぶ複合型のアーツフェスティバルは、文字通り行政とNPOの協働作業であった。企画制作と事務局をアートファームが担い、財源拠出と行政上の調整を岡山市が行い、犬島での運営には両者の共同体制が執られた。総勢30余名に及ぶボランティアスタッフとともに、犬島の炎暑の夏を駆け抜けたのである。

こうした犬島での協働実績が、今日にいたる公益財団法人福武教育文化振興財団との「犬島 海の劇場」や、同福武財団との「犬島パフォーミングアーツ公演」へと結実していった。一方、地域の劇場やホールなど文化芸術施設の節目にも関わってきた。1999年には岡山市の建部町文化センターで、2001年から3年にわたり高松市のサンポートホール高松で開館前のプレ事業を受託し、行政とのパートナーシップで舞台芸術活性化事業を担った。また、2005年には岡山県天神山文化プラザのリニューアル開館記念事業と翌年から2か年の継続事業の中で中四国演劇フェスティバルを実施した。さらに、2003年に舞台設備機能を本堂に増設した本涌山本行寺の文化事業や、2005年に医療介護施設に併設開館した「月の舞台」の企画運営など、セミパブリックな場所でのプロデュースにも取り組んできた。

協働事業の重要なところは、単なる請負事業ではないという点である。企画から調整、運営、成果にいたるまで、それぞれのプロセスにおいてパートナーシップを発揮して遂行する。たとえば、2011年から8年間にわたり福武教育文化振興財団と取り組んだ「学校でひらく舞台芸術教室」は、岡山市立の小規模小学校を対象に実施したが、学校との交渉段階から現場の教師と財団・NPOが協働し、場合によっては講師のアーティストも加わってカリキュラムやスケジュールを練った。もちろん、実際のアーティストの授業においても財団・NPOが常に帯同し、すべての内容を見聞した。協働事業の素晴らしさは、関わったアーティストやセクター、そして学校の生徒から教師にいたるまで、全ての人たちが新しい発見や経験をえられることにある。

この手法は、2014年に関わった岡山市の協働推進モデル事業にも生かされ、さらに2017年から取り組んだ岡山市の新しい文化芸術施設・岡山芸術創造劇場のプレ事業の参画にも汎用してきた。とりわけ、プレ事業の「わが町」シリーズでは、商店街や町内会、市民団体や福祉団体といった新たなパートナーシップが事業の成功を導いてくれた。

■自治体

□岡山県

◇第19回全国生涯学習フェスティバル「まなびピア岡山2007」

総合開会式

実施関係：コーディネーター（大森誠一／実行委員会）

2007年11月2日 会場：岡山シンフォニーホール

総合開会式メインプログラム・創作劇『二人の桃太郎が紡ぐ出会いと学びの旅の物語』。前年度から県担当課と演出（坂手洋二）、地元出演、舞台監督、舞台製作をコーディネート

◇第25回国民文化祭おかやま2010・準備～開催

実施関係：検討・起草・企画・実行委員（大森誠一／実行委員会）

2006年6月～2010年11月

基本構想検討委員会から現代演劇祭実行委員会まで5年にわたり担当

◇第25回国民文化祭おかやま2010「あつ晴れ！おかやま提案事業

実施関係：公募採択

2010年9月23日 総社市会場：鬼ノ城跡角楼

2010年11月6日7日 岡山市会場：旭川西中島河川敷

野外交響劇『神々の微笑～古代吉備王国の光～』

原作・戯曲：海棠紘一 演出：大森誠一

連携支援：文化庁、岡山市、福武教育文化振興財団、

三菱UFJ信託地域文化財団、マルセンススポーツ文化振興財団

古代吉備と遊牧騎馬民族の繋がりを演劇・音楽・舞踊の融合で描いた野外劇叙事詩

□岡山市

◇犬島アーツフェスティバル

実施関係：協働開催（実行委員会）

2002年7月19日～28日

犬島の島興しと全国発信を目的に岡山市と協働。企画・制作・運営を担う

<主催事業>

【維新派チャンチャン☆オペラ『チチカカ』】

2002年4月6日 会場：西川アイプラザホール

作・演出：松本雄吉 出演：維新派 音楽：内橋和久

犬島での『カンカラ』7月公演に先駆けて開催したプレビュー公演

【維新派新作野外公演『カンカラ』】

2002年7月19日20日21日26日27日28日 会場：銅精錬所跡

作・演出：松本雄吉 出演：維新派 音楽：内橋和久

中心公演として犬島初登場。2ヵ月滞在してスペクタクルな野外劇を創作

【野外ダンス公演「ダンス・ヒート・アイランド」】

・岩下徹『みみをすます』

2002年7月21日 会場：銅精錬所跡発電所跡 演出・振付・出演：岩下徹

国際的な舞踏集団・山海塾の岩下徹ソロ公演。発電所の遺構が天然の舞台装置に

・丹野賢一／NUMBERING MACHINE『PUNK EXECUTION<No.XXX>』

2002年7月28日 会場：銅精錬所跡、同発電所跡・岩崖、海岸

演出・振付・出演：丹野賢一

銅精錬所跡から海中へと移動しながらエキセントリックなパフォーマンスを展開

・dots『トランポリンとビキニ』

2002年7月27日28日 会場：銅精錬所跡 演出・振付：桑折現 出演：dots

銅精錬所跡のカラミ煉瓦で夜10時と朝7時から上演された京都造形芸大の気鋭

【演劇とダンスのワークショップ「合宿集中講座」】

・演劇ワークショップ

2002年7月19日～21日 会場：岡山市立犬島自然の家

講師：水沼健（劇団MONO俳優）

京都の人気劇団MONOの水沼健とともに合宿ならではの充実した俳優体験



維新派新作野外公演『カンカラ』



町屋でダンス

「つやま芸術祭2002」に参加。津山市街地の城東地区にある古民家、路地、庭、街道などを会場に「Nice Trip」と題して開催した。ダンスには岡山からLaftのメンバーが出演した。

町屋で遺書を読む

城東地区を貫ける出雲街道とそれに面した町屋で、古今東西の遺書や遺言を朗読した。町屋の軒下では円谷幸吉の遺書が読まれ、来場者を記憶の旅「Nice Trip」へと誘った。



- ・ダンスワークショップ
2002年7月21日～24日 会場：岡山市立犬島自然の家
講師：岩下徹（山海塾舞踏手）
全国各地からの参加者をもとに3日間の成果パフォーマンスを犬島住民に披露【シンポジウム「犬島に維新派がやってきた」】
2002年7月27日 会場：岡山市立犬島自然の家
パネリスト：松本雄吉（維新派主宰） 扇田昭彦（演劇評論家）
小堀純（演劇誌編集者） 在本桂子（犬島再発見の会代表）
コーディネーター：大森誠一（アートファーム代表）
離島で初開催される維新派公演の魅力や意義について様々な角度から語り合った<関連事業>

- ・維新派犬島屋台村
2002年7月19日20日21日26日27日28日 会場：銅精錬所跡
維新派公演恒例の屋台村が出現。ライブステージも併設して祝祭と交流の場に
- ・GAKU AZUMA EXHIBITION 719 ☆ SPERM in 犬島
2002年7月19日～28日 会場：平井さん宅
維新派宣伝美術の東学が墨絵やドローイングで妖艶な女性たちを描いた作品展
- ・七人の「桃太郎展」筆侍展
2002年7月19日～28日 会場：平井さん宅
桃太郎をモチーフに関西で活躍するイラストレーター7名による作品展
- ・ビデオインスタレーション Recollection<記憶>
2002年7月26日～28日 会場：伊達さん宅
地元岡山の写真家で結成したタンテ犬島企画実行委員会が犬島の今昔を映像表現
- ・お茶会「サネジ」
2002年7月26日～28日 会場：伊達さん宅
お茶を嗜むグループが炎暑の犬島をシチュエーションに台湾ウーロン茶を提供
- ・写真展「犬島ものがたり」
2002年7月19日～28日 会場：岡山市立犬島自然の家1階ロビー
犬島の活性化を図る会が島内に息づく自然や歴史などを活写した写真展を開催
- ・とくらみ展「晴雨」
2002年7月19日～28日 会場：旧小橋商店
犬島出身で写真家をめざす大学生とくらみ古い民家を会場に自作を展観

岡山市市民協働推進モデル事業

- 「学校とアートがつながるモデル事業」
実施関係：協働開催（教育委員会、文化振興課）
2014年11月18日～2015年2月20日（ワークショップ4回、成果発表1回）
会場：岡山市立平津小学校体育館
講師：田上豊（劇作家、演出家、劇団田上パル主宰）
アシスタント：菅原直樹（俳優、介護福祉士、Oibokkeshi 主宰）
「伝え合う、助け合う、演じ合う」をテーマに4年生全員との創作体験授業をはじめ他校教師を迎えた公開授業とアフタートーク、保護者を対象の成果発表などを実施

津山市

◇つやま芸術祭 2002

- 実施関係：公募採択
2002年1月27日 会場：津山市城東地区町家

『Nice Trip——時の記憶をめぐる』

- ダンス：Laft（在津明美、竹林佐恵）@出雲街道筋、町家広間・蔵二階・茶室
朗読（遺書を読む）：岡山万里@町家玄関・仏間・庭・蔵の袋小路
音楽（ギターと歌）：小暮はな@街道郵便ポスト、町家広間・茶室・蔵の袋小路
開演 11:30 終演 16:30
由緒ある町家邸内を舞台に身体と言葉と歌声で綴る邂逅譚

■公立文化施設

□岡山県天神山文化プラザ

- ◇ホールプロジェクト
実施関係：事業委託
2005年9月23日～10月23日
岡山県総合文化センターが岡山県天神山文化プラザへトリニューアル
新しいアーツセンターへの展望を岡山ゆかりの才能とともに創作・鑑賞・体験・交流<演劇の磁力>
- 【参加型演劇創作ワークショップ】
2005年9月23日24日 会場：岡山県天神山文化プラザ・ホール/練習室/ロビー
講師：坂手洋二（劇作家、演出家、燐光群主宰）
岡山県文化特別顕賞を受賞した坂手洋二と演劇創作の練習から発表までを体験
- 【演劇のモデル授業を一般公開】
2005年9月25日 会場：岡山県天神山文化プラザ・ホール/練習室
監修：平田オリザ（劇作家、演出家、青年団主宰）
講師：山内健司（俳優、青年団）わたなべ・なおこ（演出家、アナザーワークス主宰）
コーディネーター：吉野さつき（アートマネージャー）
県内の中学校の生徒と教師を対象に演劇を手法としたモデル授業をプレゼンテーション<映画の魔力>
- 【無声映画『渋川伴五郎』の活弁上映】
2005年10月9日 会場：岡山県天神山文化プラザ・ホール
主演：尾上松之助 監督：築山光吉
共演：嵐琥珀/片岡松燕/中村仙之助/他
弁士：麻生八咫（活弁士） 楽士：後藤幸治（薩摩琵琶奏者）
岡山が生んだ稀代の映画スター・尾上松之助の代表作が活弁と薩摩琵琶で甦るライブ
- 【アフタートーク「活弁映画の醍醐味」】
2005年10月9日 会場：岡山県天神山文化プラザ・ホール
対談：松田完一（元活弁士）、麻生八咫
大正・昭和期の日本映画資料の収集家・松田完一が活弁映画の魅力を語る<言葉の引力>
- 【朗読ミュージカル『天神遊戯』】
2005年10月16日 会場：岡山県天神山文化プラザ・ホール/ロビー/練習室
演出：1部＝演劇ユニット水蜜塔
2部＝楠かつのり（日本朗読ボクシング協会代表）
朗読：古市福子（演出家・俳優）、演劇ユニット水蜜塔、一般参加
演奏：田中恵一（エレキギター）、赤田晃一（管楽器）、河田嘉彦（ディジュリドウ）
岡山県にゆかりの文学・戯曲作品を朗読と生演奏で構成したミュージカル<伝統の底力>
- 【狂言式人会『神鳴』『仏師』『口真似』】
2005年10月23日 会場：岡山県天神山文化プラザ・ホール
出演：田賀屋夙生（大蔵流狂言師）、島田洋海の父子
司会：中山美保（元アナウンサー）
大蔵流狂言師の田賀屋夙生をはじめ田賀屋狂言会のメンバーらにより三曲を上演
- ◇中四国演劇フェスティバル in 岡山（平成18年度）
実施関係：事業委託
2007年2月3日～3月25日
新生・天神山文化プラザを舞台に県内外の演劇公演、ワークショップ、シンポジウムを開催
- 【講演】
演劇創作の拠点をどこにおくか～地域から発信するための展望と戦略～
2007年3月3日 会場：岡山県天神山文化プラザ・第2会議室
講師：土田英生（劇作家、演出家、劇団 MONO 主宰）
京都を拠点に全国各地で演劇活動を行う劇団 MONO の主宰者が地域発の展望を語る
- 【シンポジウム】
地域の演劇環境をどうするのか～創造・鑑賞・批評・育成の確立と課題～
2007年3月3日 会場：岡山県天神山文化プラザ・第2会議室

2002年に開催された犬島初のアートイベントは盛大に多彩に行われた。まだ美術館も家プロジェクトもなく、近代の超克ともいえるような重厚長大産業の廃墟と美しい自然に覆われていた。運営にはアートファームスタッフと岡山市職員が空き家に滞在しながら取り組んだ。開演が午前7時と午後10時といった離島ならではのプログラムもあった。



丹野賢一
『PUNK EXECUTION<No.XXX>』公演



維新派犬島屋台村



岩下徹『みみをすます』公演

つかこうへい「表現ワークショップ」

「オレは時速 300km でヘアピンカーブに突っ込んでいく芝居を創ってるんだ！」倉敷演劇フェスティバル 2004 の企画で招聘したつかこうへいは、『熱海殺人事件』のワークショップで自らの芝居をこのように語った。5 日間連続で過ごした昼の倉敷芸文館と夜の酒場。つかさん！あなたは何処へ消えちゃったんだ！！



パネリスト：太田耕人（評論家、京都教育大学教授）
重政良恵（プロデューサー、静岡県舞台芸術センター芸術局長）
土田英生（劇作家、演出家、劇団 MONO 主宰）
福井美保（劇作家、演出家、劇団 SOFT GEAR 主宰）
コーディネーター：大森誠一（プロデューサー・NPO 法人アートファーム代表理事）
地域の演劇振興を図るための条件を各分野の現場で活躍する専門家たちが語り合う

【ワークショップ】

戯曲の解読と演出の手法～外国戯曲をテキストとして～
2007年3月8日 会場：岡山県天神山文化プラザ・第2会議室
講師：中島諒人（演出家、鳥の劇場芸術監督）
外国戯曲を読み解く方法から演出として舞台化するまでの実践的ノウハウを明かす

【県外招聘劇団】

・劇団マグダレーナ（香川）『祭囃子が聞こえたら～福田村事件～』
2007年2月18日 会場：岡山県天神山文化プラザ・ホール
作・演出：大西恵 出演：坂下正文、永井雅子、中越恵美、平岡正敏、他
大正12年9月6日関東大震災直後に千葉県福田村で起きた讃岐人の悲劇を描く
・劇団 MONO（京都）『地獄でございます』
2007年3月4日 会場：岡山県天神山文化プラザ・ホール
作・演出：土田英生
出演：水沼健、奥村泰彦、尾方宣久、金替康博、土田英生
会社員たちの off タイム、彼らはなぜ地獄にいるのか、絶望の中の喜劇を上演
・鳥の劇場（鳥取）『老貴婦人の訪問』
2007年3月10日 会場：岡山県天神山文化プラザ・ホール
原作：フリードリッヒ・デュレンマット 演出：中島諒人
出演：中村きくえ、赤羽三郎、齊藤頼陽、中川玲奈、西堀慶
45年ぶりに帰郷した大富豪の貴婦人が財力で凶行する裏切った恋人への復讐劇
・高知演劇ネットワーク演会（高知）『いかけしごむ』
2007年3月11日 会場：岡山県天神山文化プラザ・ホール
作：別役実 演出：藤岡武洋 出演：いのうえたくみ、島中昌子
夜の公園で偶然に出会った男と女。互いの妄想とリアルが交錯する不条理劇

【県内招聘劇団】

・舞台創作工房 INCHIKIYA 瀬戸内三大珍獣『迷宮遊戯～鈍色の仮面と雪溶けを待つ手紙～』
2007年2月24日 25日 会場：岡山県天神山文化プラザ・ホール
作・演出：螺子頭斬蔵
出演：釣田義盛、小林典子、高都佐代子、濱添恵弥、他
突然死した名探偵明智の遺志を継ぎ事件の迷宮へと身を投じる大正浪漫の物語
・劇団 SOFT GEAR『天神山心中』
2007年3月17日 18日 会場：岡山県天神山文化プラザ・ホール
作・演出：福井美保
出演：小橋ミミ、重丸道秀、ロドリゲス、赤木英雄、他
自殺の名所となった老舗旅館「天神山」を舞台に推理作家と編集者の思惑が交錯
・演劇ユニット水壺塔『Voices』
2007年3月24日 25日 会場：岡山県天神山文化プラザ・ホール
作：森谷めぐみ 演出：風早孝将
出演：赤木忍、石崎明子、荻田真子、風早孝将
漂流船に乗船した盲目の男、人形遣いの姉、船底に眠る船長らの希望と絶望を描く

【県内公募劇団】

・ママチャリーズ・エンジェル『雨やどり』・『父と暮らせば』
2007年2月3日 4日 会場：岡山県天神山文化プラザ・ホール
『雨やどり』作：藤澤陽一 『父と暮らせば』作：井上ひさし

演出：藤澤陽一
出演：楠木あゆみ、伊織、神崎隆文、巴里魔王、未来、他
原爆の惨禍、男への怨念、子への思慕、女性たちの苛烈な生き様を題材にした2作品
・劇工房へなそう『受付』
2007年2月11日 会場：岡山県天神山文化プラザ・ホール
作：別役実 演出：海原伸二 出演：南田是也、まね木根子
不眠症を訴える男が診察を受けるが予想外の事態へ。別役芝居の不可思議な世界
・ぼちっと公演ひとり芝居『逃げたクローディアス』
2007年3月21日 会場：岡山県天神山文化プラザ・ホール
作・演出・出演：呉英長
かつて「ハムレット」のクローディアス役を演じた男の現実と虚構のひとり芝居
◇中四国演劇フェスティバル in 岡山（平成19年度）

実施関係：事業委託
2007年11月11日～12月2日
前年度に続いて継続された演劇フェスティバルでは県内外の高校演劇からプロ公演まで開催

【ワークショップ】

小宮孝泰の演技講座とミニ上演
2007年11月13日 会場：岡山県天神山文化プラザ・第1練習室
講師：小宮孝泰（俳優）
ミニ上演：ひとり芝居『接見』
「ペラレーヌ・システム」を用いて俳優の集中力と想像力＝創造力を高める訓練

【アフタートーク】

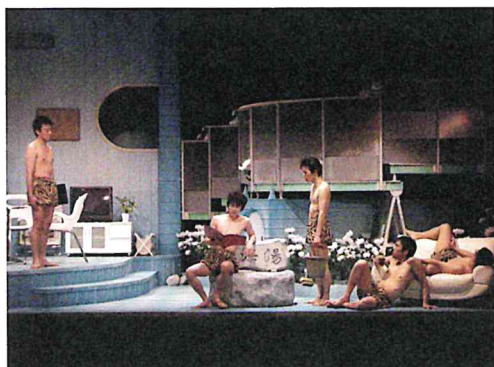
心にひびく演劇創作～中学・高校演劇を見つめて～
2007年11月24日 会場：岡山県天神山文化プラザ・ホール
講師：越智優（劇作家）愛媛県立川之江高校演劇部の終演後に登壇
全国の中学・高校に戯曲を提供してきた人気劇作家が創作のコツをレクチャー

【県内公募劇団】

・劇団 Aoi『海賊』
2007年11月18日 会場：岡山県天神山文化プラザ・ホール
作：加藤のりあ 演出：黒岩淳哉 出演：高橋亮多、溝渕翠、三宅歩
受験学生の前に現われた“海賊”と呼ばれる男とそれを取り巻く教育制度の確執
・ひびきプロデュース『月光の夏』
2007年11月25日 会場：岡山県天神山文化プラザ・ホール
作：毛利恒之 演出：鶴川直子 出演：古市福子、鈴木見、居郷毅、金澤謙介、他
戦後45年のこの年、佐賀県鳥栖小学校のグランドピアノと学徒出陣をめぐる悲劇の物語
・劇団銀仮面『満里亜の災難』
2007年12月1日 2日 会場：岡山県天神山文化プラザ・ホール
作・演出：藤澤陽一 出演：ダーマン、レイ、釣田義盛、巴里魔王、未来、他
ラーメン屋の少女が富士の裾野を舞台に繰り広げる秩序への壮絶なデスマッチ

【県外招聘劇団】

・劇団ねこ座（広島）『ベンチ』
2007年11月11日 会場：岡山県天神山文化プラザ・ホール
作：かねこ由起 演出：光成康寛 出演：矢野円香、松岡千夏、兼子之允
寂しい公園で孤独に生きる二人の女と一人の男が出会う不条理劇
・燐光群（東京）『ワールド・トレード・センター』
2007年11月15日 会場：岡山市立市民文化ホール
作・演出：坂手洋二
出演：中山マリ、川中健次郎、猪熊恒和、大西孝洋、江口敦子、他



劇団 MONO 公演『地獄でございます』

岡山県天神山文化プラザの開館記念事業として企画した「中四国演劇フェスティバル 2006-07」の圏外プログラムとして招聘した劇団 MONO。アートファームによる鑑賞公演では最速でチケットを完売！天プラのホールが満席となった。

鳥の劇場公演『老貴婦人の訪問』

鳥取市鹿野町を拠点に旗揚げして間もない鳥の劇場を招聘した。演出家・中島諒人の強いリーダーシップのもとに意欲的な創作活動が続ける公演が「中四国演劇フェスティバル 2006」に登場し、地域演劇の新しい可能性をアピールした。



同時多発テロが起きたその時、同じマンハッタンにいた日本人たちの世界観を追求する
 ・愛媛県立川之江高等学校演劇部（愛媛）『幸せ仮面』
 2007年11月24日 会場：岡山県天神山文化プラザ・ホール
 作：越智優 演出：横川節
 出演：仁木今日子、川原葉奈子、南早紀、高石理紗、他
 大会史上初の全国二連覇を成し遂げた川之江高校演劇部の横川顧問の演出作品を上演
 ◇バックステージワークショップ（平成18年度）

実施関係：事業委託
 2006年12月22日～2007年1月7日
 舞台技術の音響・照明・美術から公演を担う舞台監督、制作業務までの基礎を学ぶ講座

【音響のプランと技術】
 2006年12月22日 会場：岡山県天神山文化プラザ・ホール
 講師：渡辺悟（音響作家、アートスピリット代表）
 舞台音響の仕組みから設備・機材の解説と音響卓操作や設営方法などを体験する

【演劇制作の手法】
 2006年12月23日 会場：岡山県天神山文化プラザ・第2会議室
 講師：大森誠一（制作者・プロデューサー、アートファーム代表）
 劇団・劇場制作の違いから企画や予算の立案、広報宣伝や当日運営までをレクチャー

【舞台監督の役割】
 2006年12月24日 会場：岡山県天神山文化プラザ・ホール
 講師：田和伸二（舞台監督、タワ・スタッフコーポレーション代表）
 音楽・演劇・オペラ公演における役割から必要とされる知識や技術などについて解説

【舞台美術のプランと技術】
 2007年1月6日 会場：岡山県天神山文化プラザ・ホール
 講師：大塚和真（照明家、スペースアート代表）
 演劇・舞踊における舞台美術のデザイン手法から装置の構築、素材の選択などを詳述

【照明のプランと技術】
 2007年1月7日 会場：岡山県天神山文化プラザ・ホール
 講師：大塚和真（照明家、スペースアート代表）
 舞台照明のプランの立て方から機材の説明のほか灯台の設営撤収などを実地に体験
 ◇バックステージワークショップ（平成19年度）

実施関係：事業委託
 2007年12月18日～27日
 前年度ワークショップの好評に応じて座学と実技で構成された舞台技術実践講座を開講

【音を創る】
 2007年12月18日 会場：岡山県天神山文化プラザ・ホール
 講師：渡辺悟（音響作家、アートスピリット代表）
 ひとつの音源を切る、繋ぐ、重ねる、変える…音響・音効の変幻自在な魅力を体験

【材を探る】
 2007年12月19日 会場：岡山県天神山文化プラザ・ホール
 講師：大塚和真（照明家、スペースアート代表）
 舞台美術の様々な自然材から人工材まで多彩なバリエーションとその活用術を学ぶ

【形を組む】
 2007年12月26日 会場：岡山県天神山文化プラザ・ホール
 講師：大塚和真（照明家、スペースアート代表）
 舞台美術の構想をカタチにする堅牢かつ柔軟な装置を組み上げる基礎技術を修得

【光を操る】
 2007年12月27日 会場：岡山県天神山文化プラザ・ホール
 講師：大塚和真（照明家、スペースアート代表）
 日時や季節の変化から造形や心象の動静までも表現する舞台照明の光の魔術を演習

□倉敷市芸文館
 ◇倉敷市芸文館開館10周年記念
 倉敷演劇フェスティバル2004「芸文館は演劇広場」
 実施関係：事業委託
 2004年2月19日～22日

1992年の開館以来、倉敷市のランドマークと評されてきた芸文館を「演劇広場」と捉え全館を活用して集い・演じ・楽しみ・学び・語り合う記念事業が展開された
 <学びの広場>ワークショップ
 【つかこうへいの演技ワークショップ】
 2004年2月19日～22日 会場：倉敷市芸文館・ホール/練習室
 講師：つかこうへい（劇作家、演出家、北区つかこうへい劇団主宰）
 戯曲「熱海殺人事件・売春捜査官」を台本に、つか芝居の真骨頂・口立て稽古を体験
 <巧みの広場>ドラマクリニック

【演劇批評家による公演作品の劇評を一般公開】
 2004年2月19日～22日 会場：倉敷市芸文館・ホール/アイシアター
 講師：太田耕人（演劇批評家、京都教育大学英文学助教授）

フェスティバルの演劇公演について各公演の終演直後に参加者に対して劇評を展開
 <歓びの広場>フレンズラボ

【小中学生を対象に演劇の楽しさを遊ぶ&学ぶ】
 2004年2月21日22日 会場：倉敷市芸文館・練習室
 講師：後藤田恵子（舞踊家、振付家、倉敷シニバルエ主宰）
 木村誠一（劇団K.M.A.・演劇表現スクール主宰）
 倉敷市内の小学校4年生以上と中学生を対象に身体表現を主としたワークショップ
 <語らいの広場>シンポジウム

【キーマンが語り合う地域と演劇フェスティバルの可能性】
 2004年2月21日 会場：倉敷市芸文館・203会議室
 パネリスト：小堀純（大阪現代演劇祭情報誌「劇の宇宙」編集長）
 中埜コウシ（東京こまばアゴラ劇場演劇祭ディレクター）
 市山裕之（北九州市芸術文化振興財団演劇祭事務局長）
 柴田利明（岡山県高等学校演劇協議会事務局長）

コーディネーター：大森誠一（倉敷演劇フェスティバル2004企画運営委員会委員長）
 各地で演劇フェスティバルを企画運営している主導者たちが開催の意義を語り合う
 <集いの広場>ロビーイベント

【芸文館ロビーに地域演劇の活動を展覧】
 2004年2月19日～22日 会場：倉敷市芸文館・ロビー
 地域の演劇活動や演劇祭の様子などを写真や印刷物のパネル展示によって紹介する
 <演じる広場>演劇公演

【学生から一般まで長編・短編作品を連日上演】
 ・岡山県高等学校演劇協議会

2004年2月19日20日 会場：倉敷市芸文館・ホール
 参加校：清心女子中、岡山東商高、高粱高、岡山芳泉高、玉野高、操山高、青陵高
 ・劇団向上委員会 朗読劇『チョコって甘い？』作・演出：ねぎ坊
 2004年2月20日 会場：倉敷市芸文館・アイシアター
 ・劇団らくだのくるぶし『脱力的サラリーマンの憂鬱と情熱』作・演出：中川秀恵

2004年2月20日 会場：倉敷市芸文館・アイシアター
 ・劇団プロリバ『最後の恐竜 REMIX』作・演出：森本シゲル
 2004年2月21日 会場：倉敷市芸文館・ホール
 ・太郎冠者の会 狂言2番『附子（ぶす）』『濯（すす）ぎ川』
 2004年2月21日 会場：倉敷市芸文館・ホール
 ・倉敷芸科大学演劇部劇団 Aoi『世界の中心で愛を叫ばない』

作：山本道広 演出：なまこ
 2004年2月21日 会場：倉敷市芸文館・アイシアター
 ・劇的集団転機と砲『バリアブルロード [エッグ]』作・演出：限界妄想
 2004年2月21日 会場：倉敷市芸文館・アイシアター
 ・Stagefarm Ajino Kotoura JHDC『モンズーンによるしく』作・演出：松尾綾子

2004年2月22日 会場：倉敷市芸文館・ホール
 ・倉敷市立短期大学児童文化部『ポン・ヒョロ・ドロロン』
 作：児童文化部 演出：溝手恵里
 2004年2月22日 会場：倉敷市芸文館・アイシアター
 ・倉敷演劇研究会 音楽講談『音楽に寄せる物語・源義経の最期』

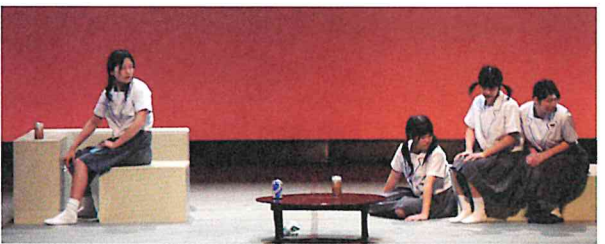
企画・演出：土倉一馬
 2004年2月22日 会場：倉敷市芸文館・アイシアター
 □建部町文化センター
 ◇建部町舞台芸術研究事業
 実施関係：実行委員会

建部町文化センターの開館記念事業としてプロ劇団の公演・ワークショップを開催
 ・兵庫県立ピッコロ劇団公演『裸のヴィーナス』
 1999年12月5日 会場：建部町文化センター
 ・ワークショップ「演劇わくわく講座」教養編/体験編 講師：ピッコロ劇団俳優

1999年12月3日4日 会場：建部町文化センター
 ・トークセッション「ホールネットワークをめざして」
 講師：長畑信之（神辺町文化会館館長）
 2000年3月24日 会場：建部町文化センター

□静岡県舞台芸術センター ※【創造発信】 ページに内容掲載
 ◇演劇共同製作3ヵ年計画「ブルーラル・シアター・プロジェクト(P.T.P)」
 実施関係：協働開催
 2007年11月～2009年11月
 岡山のアートファームと静岡の公立劇場が3年連続して演劇作品を創作し両都市で公演

□サンポートホール高松 ※【協働連携】 ページのコラム欄に内容掲載
 ◇自主事業の業務全般（予算計画、資金調達、事業企画、広報宣伝、販売促進、公演運営、市民連携、決算報告）
 実施関係：チーフプロデューサー（大森誠一）



岡山市の老舗劇団びびきは2年目の「中四国演劇フェスティバル2007」に参加。鶴川直子演出で『月光の夏』を上演した。

2007年の演劇祭では舞台技術ワークショップも開催。大塚和真による照明講座「光を操る」が天プラの舞台で行われた。

全国大会で最優秀に輝いた愛媛県立川之江高等学校演劇部を招聘。横川節演出の『幸せ仮面』が演劇祭2007で異彩を放った。

『ティッシュ』 松村翔子+端田新菜

言語と身体が独特の演出により繋ぎとめられたチェルフィッチュの舞台が岡山初登場

【劇団黒テント『ど』】

2006年9月24日 会場：月の舞台

作：小寺和乎 構成・演出：山元清多 出演：内沢雅彦、木野本啓、宮崎恵治、他

【マレピトの会『パライソノート』】

2007年4月28日29日 会場：月の舞台

作・演出：松田正隆 出演：ごまのはえ、筒井加寿子
ダンス作品として書き下ろした戯曲を演劇作品化し驚愕のストーリーが展開する

<関連企画>

- ・ワークショップ 講師：松田正隆 4月15日 会場：月の舞台
- ・アフタートーク 登壇：松田正隆+出演者 4月29日 会場：月の舞台

【岩下徹 コミュニティダンス はじめの一步】

・保育士ワークショップ 2007年9月7日 会場：牧石保育園

高齢者ワークショップ 2007年9月7日 会場：悠くらぶ

一般ワークショップ 2007年9月7日 会場：月の舞台

講師：岩下徹

・公演+即興セッション 2007年9月7日 会場：月の舞台

出演：岩下徹 演奏：慧奏 (esoh)

ダンスセラピーの第一人者としても知られる山海塾の舞踏手・岩下徹を招聘

【備中神楽】

2007年9月29日 会場：月の舞台

出演：神楽大夫 解説：神崎宣武 作品：『榊舞』、『岩戸開き』、『大蛇退治』、『託宣』
国指定重要無形民俗文化財の本物を鑑賞するとともに民俗学者・神崎宣武が幕間解説

【吉川よしひろチェロコンサート】

2008年1月26日 会場：月の舞台

曲目：リベルタンゴ、アランフェス協奏曲、パッフェルベルのカノン、他
独特のスタンディング奏法でジャズ、タンゴ、ヒーリング音楽を奏でるチェリスト

【劇団衛星『珠光の庵』】

2008年6月14日15日 会場：月の舞台

作・演出：蓮行 茶道監修：十菱元宏 出演：蓮行、ファックジャパン、紙本明子、他
京都を拠点とする劇団が演劇と茶道を融合させた作品。観客も間茶の客人として参加

■文化芸術団体

□一般社団法人日本演出家協会

◇演劇大学 2008in 岡山

実施関係：実行委員会

2008年5月31日～7月27日

日本演出家協会が全国各地で実施している「演劇大学」シリーズを岡山で協働開催

【目からウロコの演出法と演技術】

2008年5月31日・6月1日 会場：岡山県天神山文化プラザ

演出演技ゼミ講師：深津篤史（劇作家、演出家、劇団桃園会主宰）

大阪を拠点に傑出した演劇作品を創り続ける深津篤史が演出・演技の両ゼミに登壇

【よくわかる+よくできる☆現代演劇セミナー】

2008年7月25日26日27日 会場：岡山県天神山文化プラザ

・シンポジウム「現代演劇の面白さをアピールしたい！」

パネリスト：北九州・飛ぶ劇場主宰 田辺剛（京都・下鴨車窓主宰）

上村良介（高松・銀河鉄道主宰） 風早孝将（岡山・水壺塔演出）

コーディネーター：大森誠一（岡山・NPO法人アートファーム代表理事）

・教養ゼミ講師：「ここに注目①近代劇の魅力」村井健（演劇評論家）

「ここに注目②海外演劇の新風」和田喜夫（楽天団主宰）

・演技ゼミ講師：「今だから明かす①②野田秀樹の俳優養成術」

高都幸雄（夢の遊眠社/NODA・MAP演出補）

・演出ゼミ講師：「プロの手ほどき①演出家はプロデューサー」坂手洋二（熒光群主宰）

「プロの手ほどき②演出家はコンダクター」鐘下辰男（ガジラ主宰）

現代演劇の第一線で活躍する演出家や俳優が全国各地から参集した養成セミナー

□NPO法人JCDN (Japan Contemporary Dance Network)

◇踊りに行くぜ!! Vol.4

実施関係：協働開催

2003年10月24日 会場：西川アイプラザホール

出演・作品：近藤良平&野和田恵里花（東京）『小さな恋のメロディ』

ズンチャチャ（岡山）『ラムネー夏休みのうた一予告編』

sonno（大阪）『a la notte』

三好絵美（松山）『Sinking float』

全国各地の振付家、ダンサーらを対象にした選考会と選抜公演の巡回プロジェクト

□劇団トマト座『グランド・マインへ突然、愛の地雷原』

実施関係：実行委員会

2001年1月27日 会場：岡山市立市民文化ホール

作：伊藤康隆 構成・台本：だんいっせい 演出：鈴木龍男

1970年代に岡山の演劇シーンを牽引した俳優だんいっせいの凱旋公演をサポート

Column

公立劇場のチーフプロデューサーに

オファーはサンポートホール高松からだった

NPO法人アートファームの代表理事を務める大森誠一は、2006年から3年にわたり公益財団法人高松市文化芸術財団からの招聘によりサンポートホール高松の自主事業企画(内2年は劇場専従業務)をプロデュースした。予算計画に始まり資金調達、事業企画、折衝業務、宣材・広報・販促制作、公演運営、市民連携、決算報告にいたるまで劇場経営の全般に関わった。とりわけ、公立劇場としての社会的ミッションを重視するなかで、高松市ならではの自主事業の明確化に注力した。その過程は、指定管理者制度下の公立劇場において行政と文化芸術とがさまざまな局面に遭遇する連続でもあった。3年の自主事業で協働した芸術団体とアーティストは以下のとおり。

【演劇】二兎社、世田谷PT作品、白石加代子、イッセー尾形、

サンポート演劇祭、東京乾電池+柄本明、劇団青年団+平田

オリザ、劇団地点+三浦基、島の劇場+中島諒人、飛ぶ劇場

+泊篤志、ペーター・ゲスナー、岩崎正裕、池内美奈子

田辺剛、松本修、小宮孝泰、川南恵

【ダンス】山田せつ子、近藤良平、山下残、寺田みさこ、砂連尾理

【ミュージカル】音楽座ミュージカル、葉っぱのフレディ

【伝統芸能】野村万作・萬斎、松竹さぬき歌舞伎、結城座、花柳基

【音楽】瀬戸フィル+川井郁子+奥村愛

ベルリンフィル・プラスクインテット、音楽の絵本、三木稔

泉谷しげる、シズカ楊静、王莉

【映画】ぴあフィルムフェスティバル

【その他】詩のボクシング香川大会、地域創造ステージラボ

サンポートホール高松 自主事業企画のご案内

Race of 2006/2007



TAM(トヨタ・アートマネジメント) 講座の岡山セッションを1999年に実施した。テーマを「劇場—演劇が生まれる場をつくる」とし、現在の岡山芸術創造劇場の整備地区にあった千日前貸ホールを会場に行われた。



福武教育文化振興財団と協働した「学校でひろく舞台芸術教室」の総括プログラムとして2011年に開催されたシンポジウム。大岡淳、角ひろみ、山下残、藤原麻紀らの講師陣が演劇、ダンス、音楽の授業を振り返った。



日本演出家協会と協働した「演劇大学in岡山」を2008年に開催。演出と演技のゼミでは、劇団桃園会主宰の深津篤史を講師に迎えた。



JCDNが全国展開していた「踊りに行くぜ！」も協働開催した。岡山では近藤良平、野和田恵里花と地元からズンチャチャが参加した。



「演劇大学in岡山」では、NODA・MAP演出補の高都幸雄による「野田秀樹の俳優養成術」も併催し、人気公演の稽古場が再現された。